

No.29-2 平成 29 年 4 月 28 日	<h2>漁況情報・浜の話題</h2>	神奈川県水産技術センター 企画資源部 046-882-2489 相模湾試験場 0465-23-8531
-----------------------------	--------------------	---

### ● 漁況情報

- 4月14日、長井町漁協の長井漁港（井尻地区）では、収穫した養殖コンブを干す作業が始まりました。例年よりやや早い収穫とのことですが、出来栄は上々とのことでした。

### ● 浜の話題

- 3月27日から4月1日にかけて、茅ヶ崎市漁協所属の漁業者が、地先海域の海底耕運（海底を耕すこと）を5回実施しました。茅ヶ崎ではキスの減少が著しく、10年以上前に海底耕運を実施した折には、耕運した海域でキスの釣果が良くなったので、漁業者は今回も同様の効果を期待しています。
- 3月30日、茅ヶ崎市漁協で総会が開催されました。当日は役員改選もあり、新組合長に沖右工門丸 木村英雄さんが就任されました。木村組合長は、茅ヶ崎地先の養浜対策や、種苗放流を通じた地先の資源回復等に積極的に取り組んでいくと、はりきっておられます。
- 平成29年4月1日付けで大磯町漁協と二宮町漁協が合併し、大磯二宮漁業協同組合となりました。新漁協の所在地及び連絡先は、前大磯町漁協の所在地「大磯町大磯 1398-6」で、TEL「0463-61-0940」と変わりません。初代組合長には大磯地区の加藤孝さんが就任され、本合併を通じて漁協経営基盤の強化に加え、組合員数の増強を図るそうです。
- 4月4日、上宮田漁協でワカメの種付け作業が行われました。普及員が遊走子（ワカメの種のようなもの）の発生を顕微鏡で確認した後、種糸を巻きつけた枠を水槽に浸漬しました。平成29年春のワカメ養殖は順調であり、漁業者は来年も豊作を願っていました。
- 4月6日、真鶴の定置網漁場でサワラが大漁でした。1晩で2トンの水揚げがあり、サイズも60cm前後と良形でした。サワラは春に漁獲が多くなる魚で、漁獲が多い地域は九州や山陰地方のイメージがありますが、最近は相模湾でもサワラの漁獲が増えています。昨年上半期の西湖地区定置網でのサワラの漁獲量は平年の20倍超となりましたので、今年も大漁に期待したいところです。



市場に水揚げされたサワラ

- 4月10日、大磯二宮漁協所属 ふじ丸さんが、新たにアカモクの製品化に取り組み始めました。当日は大磯地先で収穫したアカモクを加工し、茹で冷凍品を100パック製品化しました。大磯では、アカモク茹で冷凍品の製品化は初の試みなので、試食やレシピを提供して、新たな産品としてPRしてゆくそうです。



アカモク収穫風景



アカモク茹で加工の様子

- 4月11日、小田原の米神定置網漁場でブリ・ワラサが1日で16トンの水揚げがありました。ブリ・ワラサの資源量は現在高水準にあり、全国的に漁獲が増加しています。隣県の静岡県伊豆東岸の定置網でも現在のところ昨年を上回る水揚げとなっていますので、本県沿岸への来遊は今後も期待できると思われます。



市場に水揚げされたブリ

- 4月23日午前8時25分から（再放送は4月28日午前3時40分）、NHK「うまいッ！」で、「湘南しらす」について放映されました。しらす協議会の丸八丸さんのしらす漁や湘南しらす製品の加工の様子、もんざ丸さんのしらすの沖漬け製品加工の様子等、かながわブランド「湘南しらす」のこだわりや魅力等が満載でした。